

台湾交流の報告

令和4年12月24日（土）から28日（水）の4泊5日で、3年生2名、1年生1名、引率教員2名の計5名で、中華民国（台湾）へ行き、学校交流をしてきました。その一部を報告します。

12月24日（土）

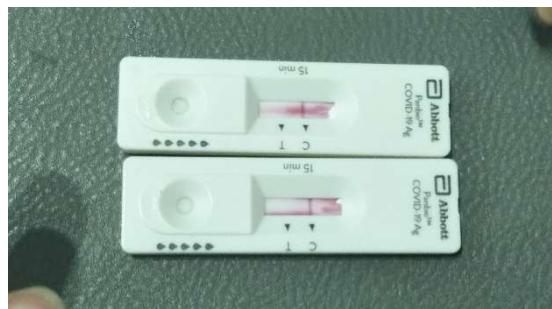
集合時間は午前9時、しかし8時30分には全員集合していました。保護者のお見送りもあり、しばしのお別れです。もちろん、学校長もお見送りです。



4時間弱のフライトを終え、高雄国際空港に到着しました。到着ロビーでは、早速入管で渡された新型コロナ感染検査キットで検査です。無事に全員陰性でした。



到着ロビーでは、高雄師範大学附属高級中学の交流担当許先生とホームステイ先の各家庭が迎えに来ており、生徒たちは顔合わせをしたあと各家庭へと移動して行きました。全員で到着ロビーのクリスマスツリーの前で記念写真です。25日（日）はホームステイ先で楽しい時間を過ごしたようです。



12月26日（月）

いよいよ学校交流です。高雄師範大学附属高級中学を校内見学ツアーしたあと、本校の生徒からは、「樹脂粘土を用いた和菓子」の作成と「風呂敷の使い方」の紹介を行い、作製した粘土和菓子と風呂敷については高雄師範大学附属高級中学の生徒および先生方へプレゼントしました。高雄師範大学附属高級中学からは「3Dプリンタを用いた名前プレート」と「レザー加工による皮革キーホルダー」の作製があり、それぞれ制作物をプレゼントとして頂きました。生徒交流は非常に楽しい時間となり、予定を30分近く越えても生徒同士の会話は尽きませんでした。最後に正面玄関前にて李金鵠校長先生、許先生、交流参加生徒の皆さんと記念撮影をしました。



12月27日（火）

前日に台湾高速鉄道（台湾新幹線）にて、お世話になった高雄市から台北市へと移動しました。この日は Brother & Sister プログラムを利用して、現地大学生（男性1名、女性1名）と台北市内見学です。地下鉄の1日乗車券を利用して、生徒の希望に沿って案内していただきました。地下鉄では最後に切符の不具合で改札を出られないトラブルが発生したようですが、現地大学生がトラブルに上手に対処してくださり、無事に送り届けていただきました。いよいよ待ちに待った、台湾の代表的な観光地九份へと移動です。

九份は「千と千尋の神隠し」の舞台モデルと言われている場所です。ここは台湾の原住民の生活様式が残っており、台湾の成り立ちを学ぶ上でも貴重な体験になりました。ライトアップされた景色は「千と千尋の神隠し」の舞台そのまま、細い路地を通ると「千と千尋の神隠し」の世界に迷い込んだようでした。



12月28日（水）

いよいよ最終日です。午前中は、中正紀念堂の衛兵交代式を参観しました。中正紀念堂は、中華民国を建国した蒋介石を祀っている場所です。生徒はガイドの説明で「国共内戦」について学び、中華民国（台湾）の成立について学びました。蒋介石の銅像の前で最後の記念撮影です。その後、桃園国際空港へ向かい、帰国の途へつきました。



本事業は島本プロジェクト（閉校プロジェクト）の支援で実施

いたしました。生徒たちにとって貴重な体験になりました。

支援に感謝いたします。